

新型コロナウイルス感染防止対策に伴う大会開催ガイドライン

京都府高体連バレーボール専門部

京都府高体連バレーボール専門部はJVAバレーボールガイドラインを改訂しました。

1 大会全般について

- ① 大会主催者は本部に感染対策責任者を設置する。
- ② 消毒等感染防止に必要な物品は本専門部で準備する。ただし、参加チームにおいても使用した用具・設備等の消毒をするよう準備を要請する。
- ③ 京都府内の感染状況や会場の事情により、「無観客試合」とすることもある。「有観客試合」の場合、選手と観客の動線を分け、待機場所・応援場所も分ける。
- ④選手以外は、ID及びスタッフ章を着用すること。

2 大会参加募集時の対応（主催者が参加者に求める感染拡大防止措置）

- ① 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。こと。（大会当日に書面で確認を行う）
 - ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
 - エ （未成年者においては）保護者の参加同意書を得られない場合
- ② マスクの着用の徹底。（競技中以外のすべての場面）
- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施。
- ④ 他の参加者、主催スタッフ等との距離を確保すること。（できるだけ2m以上／障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- ⑤ 大会開催中は大きな声で会話、応援をしないこと。
- ⑥ 感染拡大防止のため主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと。また、体育館や会場校が示す感染防止対策や注意事項を遵守すること。
- ⑦ 大会終了後1週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

3 大会参加者が遵守すべき事項

- ① 体育館に来場する全ての大会役員、顧問、指導者、生徒、は、各試合日の2週間前から「健康チェックシート（提出用）および参加同意書」に必要事項を記入し、当日顧問に提出すること。「健康チェックシート（提出用）および参加同意書」については、顧問保管とする。
- ② 顧問は大会当日、体育館に来場する顧問、指導者、生徒の「チーム同行者検温確認表」を作成・提出すること。
- ③ 「手洗い・うがいの励行」、「咳エチケット」、「マスク持参と必要時の着用（原則、競技を行っていないすべての場合）」を徹底すること。
- ④ 熱中症予防にも十分に配慮すること。特にマスクを着用していると水分補給を忘れてしまうことにより体温が上昇することがあるため、こまめに水分を補給すること。水分補給を行う際には、各人の水ボトルを用意するなど、飲み回しをしいようにする。

- ⑤ 飲食については密にならず、周囲の人とは対面を避け黙食を行う。
- ⑥ ミーティングを行う場合は、3つの密を回避すること。
- ⑦ 各校消毒する用具（除菌シートなど）を持参し、使用したボールをこまめに除菌するよう努めること。また、ベンチ移動の際にベンチを消毒したり、更衣室使用後の周辺を消毒したりすること。

4 大会主催者が準備・配慮すべき事項

- ① 試合用コート1日1面当たり4チームを超えない範囲での実施が望ましい。
- ② 換気の悪い密閉空間にならないよう、十分な換気を行う。窓を開けることができる環境でも、競技中は遮光の関係で暗幕を閉じる必要があるが、セット間など定期的に開放して外気を取り入れる等換気を行うこと。空調設備の活用や、必要に応じて扇風機を併用するなどの工夫を心がける。
- ③ 試合球はできるだけ複数個用意し、こまめに消毒・除菌を行って交換しながら使用する。
- ④ 線審のフラッグ、得点板、モップ等、試合で使用する備品類のこまめな消毒など衛生対応に留意する。
- ⑤ 審判員もマスクを着用する。
- ⑥ 熱中症のリスクにも備えること。
- ⑦ 式典等、運営についてはできる限り、簡略化すること。
- ⑧ コイントス時、キャプテンと審判間のあいさつや試合前後の握手は、当面は一礼などでこれに代える。
- ⑨ トイレ・手洗いには石鹸（ポンプ式が望ましい）を用意する。
- ⑩ 更衣室は、換気に配慮し、他の参加者と密にならないよう広さにゆとりをもたせる。ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加人数を制限する等の措置を講じる。
- ⑪ できるだけ昼食をとらない競技運営を講じる。どうしても昼食をとらなければならない場合は、間隔を取り、黙食をするよう促す。

5 競技中の注意事項

- ① 試合前などの円陣や、ベンチでの集合時においてもできるだけ密集・接触を避けること。
- ② ミーティングを行う場合は、3つの密を回避すること。
- ③ 試合中のハイタッチは禁止。靴底を手でさわらないこと。ネット際などで、相手に向いた状態での発声は控えること。
- ④ タオル・水ボトル・アイシングバッグなど共有の禁止。
- ⑤ 各試合会場周辺でアップ等練習をする際は、大きな声を出すことを控える。
- ⑥ ベンチでは離れて座ること。ウォームアップエリアでも密に気をつけて、必ずマスクを着用すること。私語や声を出しての応援は控えること。
- ⑦ 審判をはじめ線審・点字・公式記録員等のすべての補助役員は、必ずマスクを着用すること。

6 その他の留意事項

大会主催者・各校顧問は、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、大会当日に参加者より提出を求めた書面（「チーム同行者検温確認表」「健康チェックシート（提出用）および参加同意書」）について、保存期間（少なくとも1か月以上）を定めて保管する。

また、大会終了後に、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や地域生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針については、保健所等の関係機関と連携して対応する。